

本島人は如何なる宗教を信ずるかに付き、去る（明治）三十六年五月中台北監獄囚徒本島人六百三人につき中津教誨師の調査したところを聞くに全く無信仰三百三十五名、やや信仰心を有する者二百六十八名ありという。今その類別を掲げて参考に供すべし。

観音菩薩を信仰する者	八九名	
□天公を信仰する者	四三名	
土地公を信仰する者	二三名	
天地を信仰する者	一五名	
真宗を信仰する者	一四名	
△媽祖婆を信仰する者	一四名	
関帝を信仰する者	一三名	
広沢尊王（※泉州出身の台湾人により信仰されている）を信仰する者	一一名	
保生大帝を信仰する者	九名	
城隍爺を信仰する者	七名	
曹洞宗を信仰する者	六名	
浄土宗を信仰する者	六名	
耶蘇教を信仰する者	二名	
仏祖を信仰する者	六名	
仙公を信仰する者	六名	

その他太陽公・玉皇三太子・伯爺公・帝王公・□上帝公・祖師公・△天上聖母・王爺公奉天尊王および日月等を信ずる者各一名。

もって本島人の宗教観念の一般を窺知するに足る。

著者いわく、□印および△印は元来異名同神なり。しかるに囚人は異神のごとくいいおれり。もって本島人宗教観念の大率を推知するに難からざるべし。